



側道にて狛江市郷土芸能祭ばやしを行います。市民まつりの会場としては、例年と同様、狛江第一小学校、市役所市民ひろば、市民グラウンド、一小通り、本町通り、えきまえ広場及びエコルマホールを使用します。市役所市民ひろばの会場は、市民センターの改修に伴い一部縮小となりますが、市民まつり全体としては、概ね令和5年度と同様の規模で開催します。各種イベント等の詳細については、パンフレットを確認ください。交通規制については、まつり当日、17日の午前9時から午後4時まで、本町通りの一部及び一小通りを車両通行禁止とし、関係車両及び実行委員会発行の通行許可書を提示した車両以外進入できません。路線バスやこまバスについては、一部運休や迂回運転をお願いしています。また、応援職員については、例年同様、市民生活部内の職員に応援を依頼します。

なお、市役所駐車場は、令和5年度と同様に来場者用駐輪場及び市民団体による出店場所として使用します。庁用車の移動については、地域活性課が対応します。移動希望日時は、11月15日夕方から17日中を予定しています。既に庁内グループウェア上で予約が入っている車両については、今後個別に調整します。駐車場内は出店場所として使用するため11月15日までに充電コードの収納や、駐車場内の整理についても協力をお願いします。市民まつりは、狛江市を代表する大きなイベントであり、多くの部署の協力をいただき実施しています。

- 市 長 本件について、質問等ありますか。
- 副市長 各課からの出展希望等ありましたか。
- 部 長 ステージで茅野市と共同制作した木製グッズをPRします。
- 部 長 子ども条例に関するシールアンケートや虐待防止、里親のPRを実施予定です。
- 部 長 警察署より、白バイPRの展示の依頼がありました。市民ひろば入口周辺で実施予定です。
- 部 長 こまバスの展示横に、自動運転バスの展示も行います。
- 市 長 続いて、報告事項4「商店街PINSラリーの実施について」を報告してください。
- 部 長 本事業は、市内の商業を盛り上げる「こまえ元気わくわく事業」として実施するものです。これまでは、平成30年度に狛江カフェ散歩スタンプラリー、令和3年度にこまえお店めぐりスタンプラリー すごろくさんぽという形で実施してきましたが、今回は商店街に焦点を当て、市内の商店街・商店会等に対する認知向上・愛着形成・回遊促進を図ることを目的としています。実施期間については、11月1日から2月28日までの4箇月間です。内容としては、市内商店街の参加店を巡って利用していただくことで、狛江にちな

んだデザインのオリジナルPINS（ピンバッジ）を集めてもらうものです。具体的な参加方法として、まず商店街ガイドブックを入手いただきます。こちらは市内89の参加店の他、小田急線3駅・市内公共施設にて配布しています。また、本事業を盛り上げるアイテムとして、購入は任意ですが、オリジナルトートバッグを購入いただき、集めたPINSをバッグにコレクションしながら、商店街を巡り、商店街への愛着をもっていただくことを目的としています。次に、市内商店街の参加店を利用し、利用額に応じて会計時にガイドブックへスタンプを集めていただきます。利用額税込1,000円から1,999円までの場合はスタンプ1つ、利用額税込2,000円以上の場合はスタンプ2つとなっています。スタンプが2つ集まると、PINSを受け取ることができます。PINSは全12種類あり、商店街を利用する月やエリアによって、もらえるPINSのデザインが異なります。期間を通して楽しみながら、様々な商店街に足を運んでいただく仕組みとしています。

市 長            その他ありますか。

部 長            令和6年度狛江市総合防災訓練（防災フェア）の実施結果についてです。令和6年度の狛江市総合防災訓練は、令和6年1月に発生した能登半島地震等によって高まっている市民の防災意識を具体的な防災行動につなげるため、体験型コンテンツを数多く取り入れ、「防災フェア」と称してイベント形式で実施しました。会場は、東京都水道局と連携、協力をいただき、東京都水道局狛江材料置場用地の一部を借用し実施しました。本訓練は、従来の避難所運営訓練等で訓練の主対象になりにくかった子育て世代や小学生等の子供をメインターゲットとし、市民が防災に触れるきっかけを提供することを意識しながら企画するとともに、一人ひとりの自助に関する基礎的な知識・経験の習得促進を主な目的としました。このため、従来は各避難所で行ってきたコンテンツを今回は1箇所にとどめて集客力を高めるとともに、計13の防災関係機関や協定締結事業所の協力を得て、初期消火体験や給水袋背負い体験等の実用的な訓練に加えて、はしご車の乗車体験や自衛隊服を着用した車両乗車体験、災害時に活用するドローンのフライト体験等の市民参加型コンテンツを充実させて実施しています。当日は晴天に恵まれたこともあり、参加機関、事業所及び来場された市民を含め約1,030人と非常に多くの方が参加され、一人ひとりの防災行動力の向上を図ることができました。会場では、子どもたちの姿が非常に多く、乗車体験やVR体験は絶え間なく列をなすほどの人気となったほか、ガスの復旧体験や東京都獣医師会によるペット防災ブース等、普段触れる機会が少ないコンテンツに興味関心を持っていた市民も多くいらっしゃいました。また、市のブースや防災グッズを展示するブースでは、備蓄品目や必要数量についての質問等も多くあり、災害

に対する日頃の備えの大切さを実感していただくことができました。併せて、現地ではコマラジに協力をいただき、各ブースの様子や事業所等の取組をインタビュー形式でレポート取材することにより、広く震災対策の啓発や重要性を訴えることができ、大変有意義な訓練になったと思います。今回の防災訓練は、参加対象者が災害対策をスタートさせるためのきっかけとして一定の成果があったと考えています。今後は、防災対策をきっかけで終わらせることなく継続させるため、自助に加えて共助力の強化につながるような訓練を企画し、市民の安心安全の確保や狛江市の減災につなげていきたいと考えているため、引き続き協力をお願いします。

市 長 従来から内容を変更し、親子連れの方にも多く参加いただき、楽しんでいただける良い取組になったと思います。他にありますか。

部 長 11月の児童虐待防止推進月間におけるオレンジリボンバッジ着用のお願についてです。子ども家庭庁では、毎年、11月を「秋のこどもまんなか月間」と定め、取組の1つとして「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、集中的な広報・啓発活動を行っています。それに併せ、市においても11月に市民や地域関係者向けに児童虐待防止に関する啓発活動を行っているところです。市長、副市長、教育長及び管理職に、オレンジリボンバッジを着用いただき、啓発活動への協力をお願いします。また、公立保育園4園の園長については、職務上の安全を配慮し、ピンバッジではなく、手作りのオレンジリボンの着用をお願いします。

なお、新たに管理職になった方については、子ども家庭課からピンバッジをお渡ししますが、その際に虐待防止オレンジリボン運動に活用するため500円の寄付をお願いします。この他、キャンペーン期間である11月1日から18日まで庁舎ロビーでパネル展示等を行うほか、市民向けにオリジナルの不織布バッグを配布し、啓発を図ります。また、11月17日の市民まつりに出展し、里親のPRと併せた啓発活動を行います。

市 長 他にありますか。

部 長 二ヶ領宿河原堰 ゲート設備修繕工事についてです。国土交通省京浜河川事務所より、老朽化した二ヶ領宿河原堰のゲート設備の修繕工事を行う旨の連絡がありました。本工事は令和4年度から実施している工事で、令和6年度で修繕工事は完了予定です。工事期間は12月2日から令和7年2月10日の予定で、作業時間は原則土日祝日を除く午前8時から午後6時です。工事内容は、ゲート水密ゴムや開閉装置の更新となります。今回の施工範囲は二ヶ領宿河原堰の5つのゲートのうち、第五ゲートのみとなります。具体的な工事方法は、狛江市側の水際に近い河川敷に工事ヤードを設け、組み立てたフロート台船をゲート前に浮かべて作業を行う形となります。また、工事期

間中は立入防止柵で工事ヤードを囲うとされています。初春まつりの期間中も残置されますが、人が入れないように養生されます。本工事の周知については、京浜河川事務所により現地へ掲示するほか、近隣町会に対して事前説明を実施予定です。

市 長 他にありますか。

部 長 新潟県中越地震追悼式典についてです。10月23日に新潟県中越地震から20年を迎え、新潟県長岡市川口地域では、川口運動公園「すぱーく川口（屋内ゲートボール場）」にて、追悼式典が開催されました。狛江市からは市長、議長、消防団長に出席いただきました。式典内容は、長岡市の磯田市長、松原市長の挨拶後、キャンドルへの献灯、川口地域の長岡市議会議員、谷田部議長、大津消防団長によるキャンドルへの献灯、谷田部議長から挨拶、地元中学生による未来へのメッセージの発表、発災時刻の午後5時56分に黙とうが行われました。改めて、震災の記憶を風化させず、継承していかなくてはという思いと川口地域との絆をより一層深めていきたいという思いを強くしたところです。

市 長 我々が参加した川口地域以外にも、各地区で同様な追悼式典が行われました。震災の経験を風化させることなく、子どもたちにも伝えていくことが必要であると感じました。他にありますか。

部 長 子ども議会における結果のフィードバックについてです。10月22日庁議において、子ども議会のテーマ設定について報告した際に、子ども議会での結果をフィードバックしているのか、という質問がありました。こちらについては、改めて確認したところ、子どもたちからいただいた質問や提案は短期的に実現を求めるような内容ではないことが多く、どのような形でまちづくりに生かしていくか、予算上の措置等を含め検討していましたが、提案者への報告は行っていない状況となります。本件に限らず、現在検討中の（仮称）子ども条例では、子どもの意見表明について記載する予定ですが、具体的なフィードバックの仕組みについては、併せて検討していきます。

市 長 他にありますか。

部 長 令和6年度 狛江・和泉多摩川かわまちづくり社会実験の完了についてです。10月5日から27日までの土日の6日間で実施した令和6年度狛江・和泉多摩川かわまちづくり社会実験について、事故も無く完了しました。6日間で合計約2,600人の方に来場いただき、10月26日は川崎市側の「復活登戸の渡し」との同時開催となり、開会式では、登戸側で川崎市、狛江市の両市の副市長の挨拶が行われました。社会実験の結果や考察については、今後、狛江市かわまちづくり推進管理協議会等で共有し、かわまちづくり実現に向け、引き続き事業を進めていきます。

市 長       万葉歌碑が渋沢栄一氏により再建されてから 100 年経つことから、伊豆美神社に所蔵された資料の展示が行われます。

          他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、11 月 5 日午前 9 時 00 分から開催します。